

# 三次市ため池ハザードマップ

平成28年熊本地震や、平成30年7月豪雨などの近年の災害において、ため池が相次いで決壊し、下流の地域で被害が発生しています。このマップを活用して、ため池が決壊した場合に被害が予想される範囲や、避難方法を確認しましょう。

## いざというときの緊急連絡先 (TEL)

ため池の亀裂や漏水などの異常を発見した場合は、 <b>ため池管理者</b> まで連絡をお願いします。		
警察 <b>110</b>	三次市役所 (代表)	<b>0824-62-6111</b>
消防 <b>119</b>	三次警察署	<b>0824-64-0110</b>
災害用伝言ダイヤル <b>171</b>	備北地区消防組合・消防本部	<b>0824-63-1191</b>
	災害情報案内	<b>0824-62-5119</b>

## もし、ため池が決壊したら…

- ・大量の水や土砂が濁流となって、瞬時に押し寄せます。
- ・建物や車は押し流されます。
- ・道路や住宅地、田畑は土砂に埋まります。



## 積極的に防災情報を入手しよう

三次市では、災害時における防災情報をさまざまな形で配信しています。

### スマートフォンアプリによる配信サービス

音声告知放送の緊急放送が、お使いのスマートフォンから自動的に流れます。受信した音声放送は、何度も聞き直すことができます。



### 防災一斉メール配信サービス

下記アドレスに、空メールを送信して、登録してください。

[bousai.miyoshi-city@raiden.ktaiwork.jp](mailto:bousai.miyoshi-city@raiden.ktaiwork.jp)

### 防災情報ファックス配信サービス

防災一斉メール配信サービスが利用できない方を対象に、ファックスによる配信をおこなっています。登録手続きは、危機管理課、または各支所の窓口まで。

## 地震・豪雨によるため池決壊のメカニズム

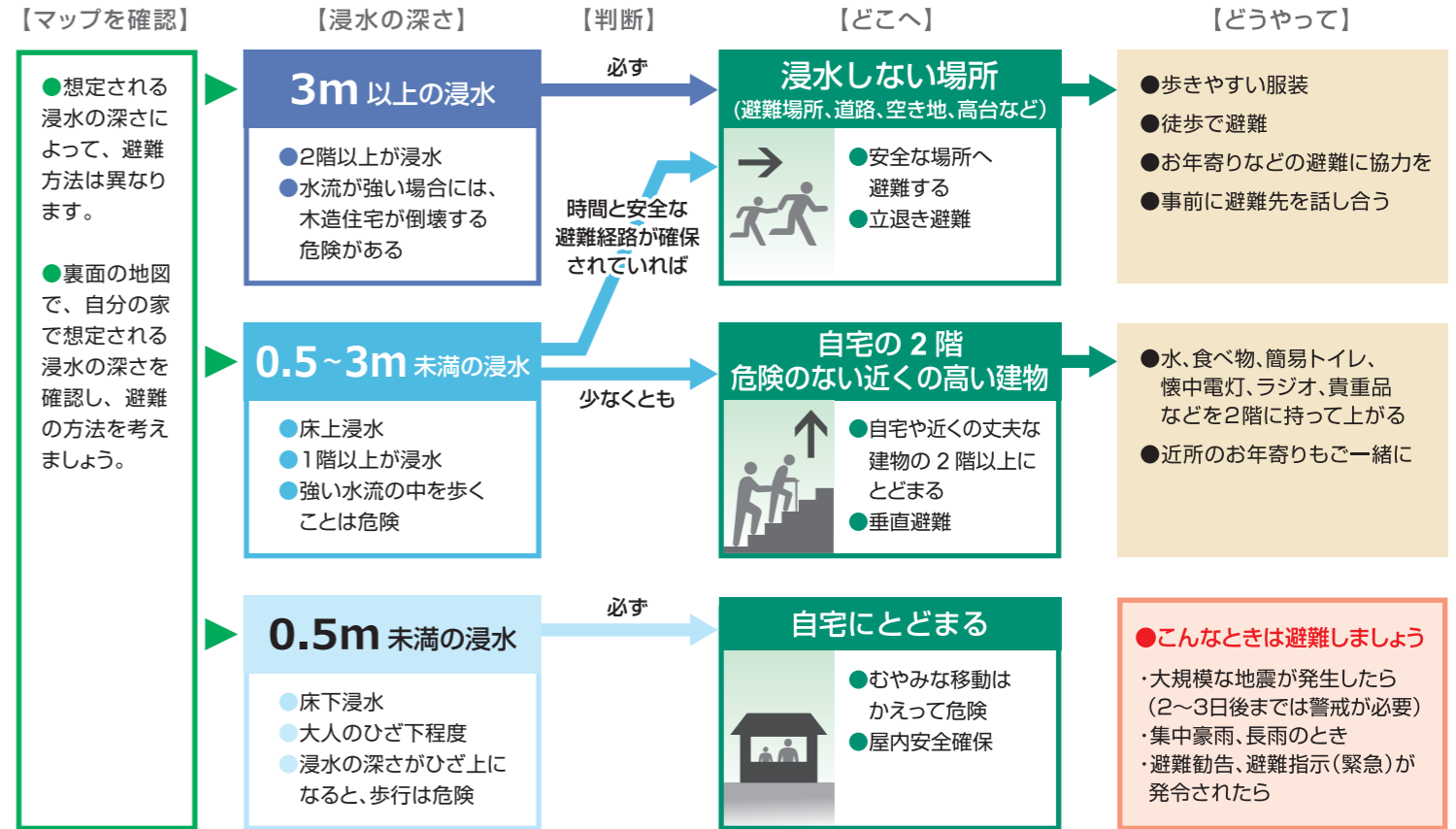
### 地震によるため池の被災メカニズム

- クラック**
  - 堤体の頂部などにクラック（亀裂）が発生する場合があります。
  - 堤体の上下流方向に生じるクラック（亀裂）は水みちとなることがあり、特に注意が必要です。
- 沈下**
  - 堤体の形状をほぼ保ち、クラック（亀裂）などを伴いながら堤体が沈下する場合があります。
  - 多くは、軟らかい地盤で発生しています。
- 斜面崩壊**
  - 堤体法面の上部が沈下し、下部がはらんで、変形が生じる場合があります。
- 斜面すべり**
  - 地震動により堤体の法面にすべりが発生する場合があります。
- 崩壊**
  - 堤体や地盤が大きく変化し、崩壊する場合があります。
  - 決壊に至ることが多く、堤体や基礎地盤の液状化によるものと考えられます。

### 豪雨によるため池の被災メカニズム

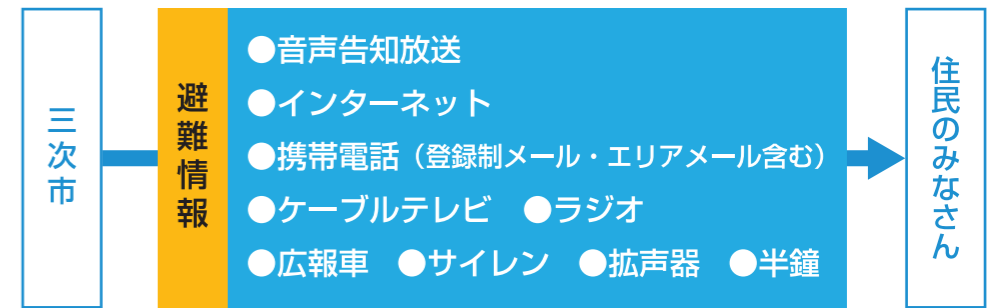
- 浸透破壊**
  - 堤体内部が劣化して、水を遮る機能が低下し、貯水位が上昇したときに堤体中の水圧も上昇して強度が低下し、破壊する場合があります。
  - また、堤体内に上流から下流に向かう水みちが発生し、破壊する場合があります。
- すべり破壊**
  - 貯留した水と降雨が堤体の中に浸透して、堤体内部の水分量が増加し、堤体の法面部の強度が低下することによって、法面部ですべりが発生し破壊する場合があります。
- 越流破壊**
  - 豪雨により、貯水位が急激に上昇し、堤体を越えて流れ出し、下流斜面を流下することによって、破壊する場合があります。
  - また、貯水位の上昇により、堤体内の水圧も上昇し、強度が低下して破壊する場合があります。

## ため池決壊による浸水の深さを想定した避難の流れ



## 「警戒レベル4」で全員が安全な場所に避難しましょう

避難情報が発令された場合には、さまざまな手段で住民のみなさんに伝達します。「警戒レベル3」や「警戒レベル4」で、地域のみなさんで声をかけあって、安全・確実に避難しましょう。



高	警戒レベル 5	既に <b>災害が発生</b> している状況です。 <b>命を守るための最善の行動</b> をとりましょう。
危険度	警戒レベル 4	<b>速やかに避難先へ避難しましょう。</b> 緊急避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。
	警戒レベル 3	<b>全員が速やかに避難</b> <b>避難に時間を要する人 (ご高齢の方、身体の不自由な方、乳幼児等) とその支援者</b> は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。
	警戒レベル 2	ハザードマップで避難行動を確認しましょう。
低	警戒レベル 1	災害への心構えを高めましょう。

※各種の情報は、警戒レベル1~5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。※危険を感じたら、これらの発表を待たずに自主避難をしてください。※逃げ遅れによる被災が多くなっています。